

公共工事現場の完全週休2日制実現にむけての取り組み



平成29年7月 実施

静岡市が発注する工事は将来的に完全週休2日を目指し、先ずは下記の取り組みを実施していく

- ① 完全週休2日制を推進するモデル工事の発注

1 目的

国土交通省は、建設業の深刻な人手不足を解消する一つの取り組みとして、若手技術者が入職・定着しやすい環境を整備する事業を積極的に推進しておりますが、本市が実施した高校生へのディスカッションにおいても、完全週休2日の実現は、最重要課題として取り上げられるなど、これからの時代を担う、静岡市の高校生からも期待されております。

契約条件での義務化だけでなく、工事関係書類の簡素化、施工の合理化などの業務量の軽減や、休日を確保できる工期設定など、官民が協力し、これから建設業に就職を考えている若い方々にとって、働きやすい職場環境の実現にむけて総合的に推進していきます。

2 実績

静岡市では、完全週休2日の実現に向けて、平成28年度は、一般社団法人全国建設業協会が実施しております「統一土曜閉所運動」に参加しました。平成29年度からは、完全週休2日の実現の前段階として「4週6休」の普及を目指し、契約条件での義務化（モデル工事）や表彰制度を利用し、完全週休2日に向けた風潮づくりに取り組んでいきます。

◆2017年度実績 発注者指定型＝9件、受注者希望型＝1件

3 備考

完全週休2日制を採用するにあたり、静岡市では建設産業に従事している企業の経営者と労働者にアンケートすることで、賃金低下が懸念される労働者の意見を参考に事業方針を決定しました。

- ・質問 次世代の担い手（若者・女性技術者）を建設産業に呼び込むための「週休2日」への移行は、どのようにすればよいと思いますか？（複数回答可）

【経営者】完全週休2日：30% <4週6休：57%、【労働者】完全週休2日：35% <4週6休：54%

（平成28年11月実施、有効回答460名）

雨休日を週休2日にカウントした休日の確保は、静岡市発注の80%以上の建設工事で実績があります。しかし、突発的な休日では家族とのスケジュールは調整が難しいことから、静岡市では上記の結果を踏まえて4週6閉所からスタートするとともに、原則、土曜日と日曜日を連続で現場閉所することとしました。